

植物研究用 LED 照明ユニット
IS シリーズ「IS-mini」高光量モデルを新発売

2011年12月1日（木）新発売

LED 照明メーカーのシーシーエス株式会社（本社：京都市上京区／代表執行役社長 米田賢治）は、LED を用いた植物育成などの研究用途向けで大学・研究機関などにおいて使用される LED 照明 IS シリーズ「IS-mini」の赤色波長（660nm）高光量モデルを 2011 年 12 月 1 日（木）より発売します。従来の赤色タイプより、光量（光合成光量子束密度（PPFD）※）は約 3 倍を実現、大幅に向上しました。

発売に先立ち、本日より、評価用実機の無料貸出を開始いたします。

■ 光量を従来比約 3 倍に大幅アップ

当社はこれまで工業用照明分野で培った技術とノウハウを駆使し、植物の研究分野におきまして、最適な照明の開発、提案をしています。IS シリーズは、発売以来 5 年に亘って、LED 照明を用いて植物と光の関係を研究している研究者に広く利用されており、植物研究用 LED 照明のスタンダードとしての地位を確立しました。

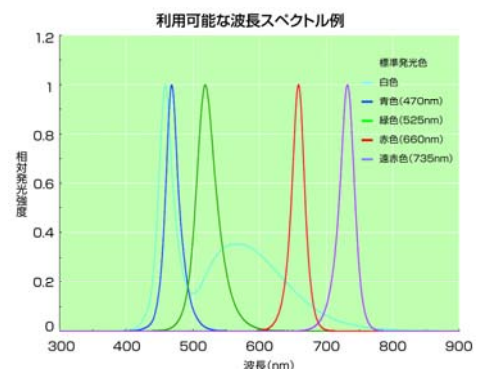
今回発売する高光量モデルは、植物の光合成を促進する赤色波長（660nm）の最大光量を従来比約 3 倍に向上しました。光量が大幅に向上したことにより、果菜類・穀物類などの研究対象にも対応が可能となり、さらに光量の調整幅が広がり、研究用途として利用するお客様へ実験範囲の拡大をご提案します。

また、光量の向上と、発熱量の低減を同時に実現しましたので、実験環境の温度調節を容易にし、照明の長寿命化を可能にしています。

■ 最大 2 波長の組み合わせが可能

「IS-mini」は、最大 2 波長の LED 搭載が可能です。本製品は、可視光だけでなく紫外（355nm）から赤外（940nm）まで、さまざまな波長の LED が搭載可能ですので、目的に合わせた波長の組み合わせを選ぶことができます。

本製品のサイズは従来品と同じで、従来電源をそのまま使用することができるため、簡単に置換えが可能なおうえ、従来品と併用してご使用いただけます。



※光合成有効光量子束密度(PPFD:photosynthetic photon flux density の略)とは、光合成に有効な波長域(400nm~700nm)の光の量を示します。

■ 「IS - mini」 高光量タイプの概要

発光色：赤色(660nm)

発光面：幅150mm×奥行150mm

外観寸法：幅165mm×奥行165mm×高さ35mm

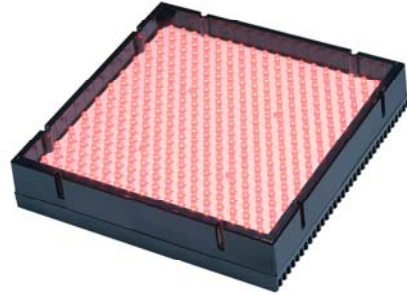
質量：1,000g

標準価格：110,250円(税込み)

発売日：2011年12月1日(木)

主な市場：研究機関、大学、バイオ研究関連会社等

※その他の波長も取り揃えております。詳細は下記お問い合わせ先まで、お問い合わせください。



■ 従来品と新製品による光量比較



■ 使用例



植物育成棚や、植物インキュベーターなどに取り付けて使用することができます。

<本商品に関するお問い合わせ先及び評価用貸出のお申し込み先>

新規事業部門 施設園芸グループ TEL: 075-415-2101 FAX: 075-432-0101

E-mail: agri-biotech@ccs-inc.co.jp

■ 本件に関するお問い合わせ ■

シーシーエス株式会社 <http://www.ccs-inc.co.jp>

経理財務グループ広報 IR セクション 梶原、中村

〒602-8011 京都市上京区烏丸通下立売上ル桜鶴円町 374

TEL: 075 - 415 - 8291 (広報) FAX: 075 - 415 - 7724 E-mail: koho@ccs-inc.co.jp